

明るいシステム(AKS0041)の概要

1-1 はじめに

「明るい」が、重要な要素

従来、多くの会社は利益志向の経営で、生産や販売をうまくやることだとしてきました。しかし今、経営環境が変化し、多くの組織で自身の経営方針も見直す(経営革新)必要に迫られています。

その内容はそれぞれの組織で英知の絞りどころですが、組織の風土により、経営革新の実践できる会社と実践できない会社の差が生まれます。実践できるような会社を観察すると、明るいのに気づきます。「明るい」「暗い」は、曖昧な概念かもしれませんが、組織が発展する上で重要な要素です。

会社の活力を引き出す

明るく！明るく！と唱えても、明るくなれる訳ではありません。それには仕組みが必要です。明るいシステム(AKS0041)は、社員の活力を引き出すための仕組みです。「明るいシステム」の要求事項に沿って、それぞれの会社独自の「明るいシステム」を決めてください。「明るいシステム」は社内の取り決めですがお客さんやお取引様にも約束するものです。当然、会社内の全員に知らせて理解されていなければなりません。

社員からみた会社のイメージ例

明るい会社	暗い会社
<ul style="list-style-type: none">●会社は我々のもの●組織の活動に当事者意識を持っている●現状の良いところを認め合い、感謝し、悪いところは改める	<ul style="list-style-type: none">●会社は社長のもの●組織の活動は「上の人」が考えること●指示して下さい！●指示された通りやっています！

1-2 明るい認証(AKS0041)の仕組み

明るい認証の仕組みは、下記の概念図(図1)を参照下さい。

- ① 経営者は「明るい宣言」を行い、「明るいルール」を決めます。

「明るい宣言」には、「明るいビジョン」と「明るいリーダーシップ」が含まれています。また、「明るいルール」には、「明るい活動」と「継続の仕組み」が含まれています。

- ② 経営者は、宣言に恥じない行動を執り、社員は、明るいルールを守ります。

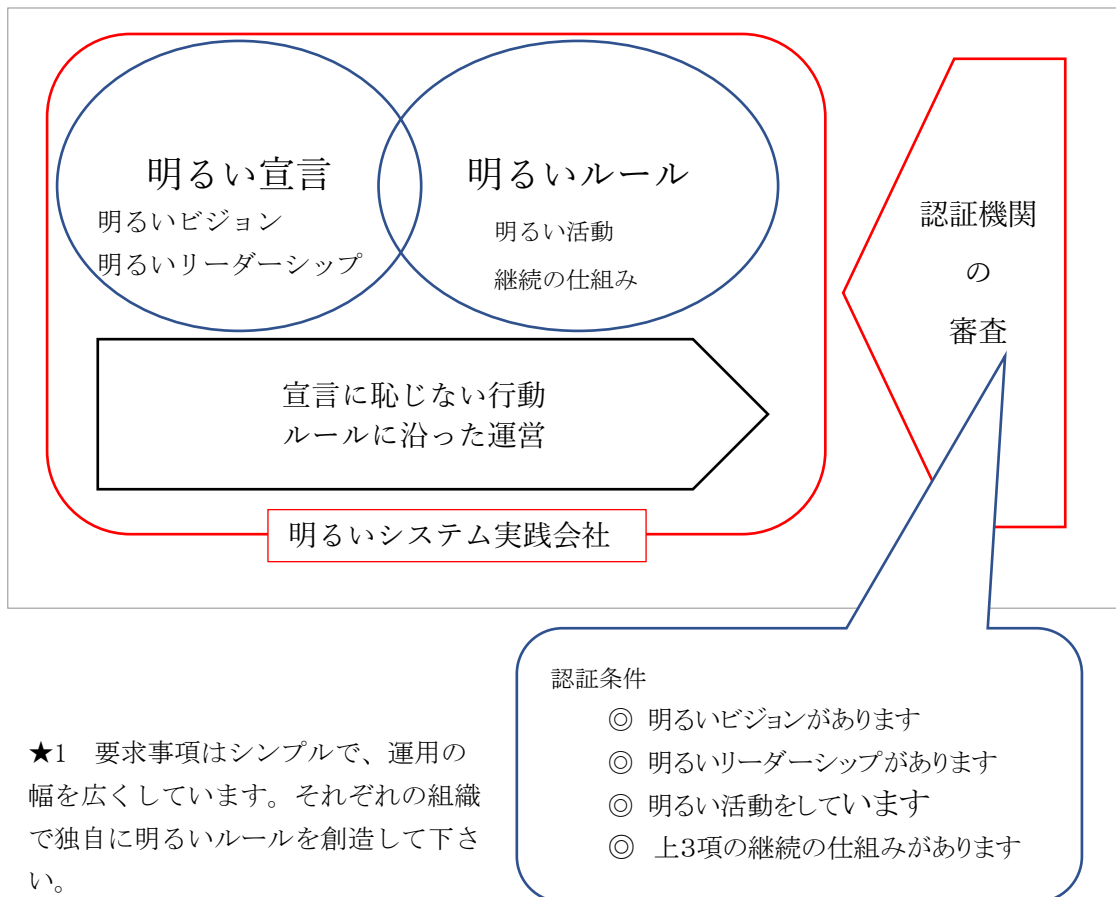
- ③ 「明るいシステム」認証機関は、組織が「明るいシステム」要求事項に沿って運営が出来ているか否かを審査します。★1

- ④ 審査に合格すれば、「明るいシステム」の組織として登録し公表します。

AKS0041 は明るい組織に贈る認証名です。

◎手順をホームページに記載しています。<https://www.akarui.cc/asd-zakki-6.html>

「明るいシステム」認証の概念図 図1



明るい認証は、一般に多くある権威の下に定める認証と異なります。審査の合格点を評点方式で決めません。要求事項を満たしていれば合格です。後は各組織の創意を尊重します。

1-3 認証機関

◆認証機関の審査

認定証の発行 産業情報化新聞社

審査員 一定の研修を受けた審査員

認証判定委員会 有識者

新宮康男(元関西経済連合会会長)
国定浩一(元りそな総合研究所会長)
山本信孝(元三和総合研究所会長)
竹原信夫(産業情報化新聞社代表)

審査 : 明るいシステム倶楽部
審査の情報収集 ・面談 ・活動の観察 ・文書の調査

◆認証のお手伝い

明るいシステム倶楽部にご相談ください。

TEL 06-6243-7123 E-Mail akaruisys@gmail.com

